

生産、出荷、在庫、在庫率指数 すべて低下

1 概要

平成14年1～3月期の埼玉県鉱工業指数（X-11 デフォルトによる季節調整済、平成7年平均＝100）は、前期と比べ、生産、出荷、在庫、在庫率がすべて低下した。出荷は6期連続で低下となった。

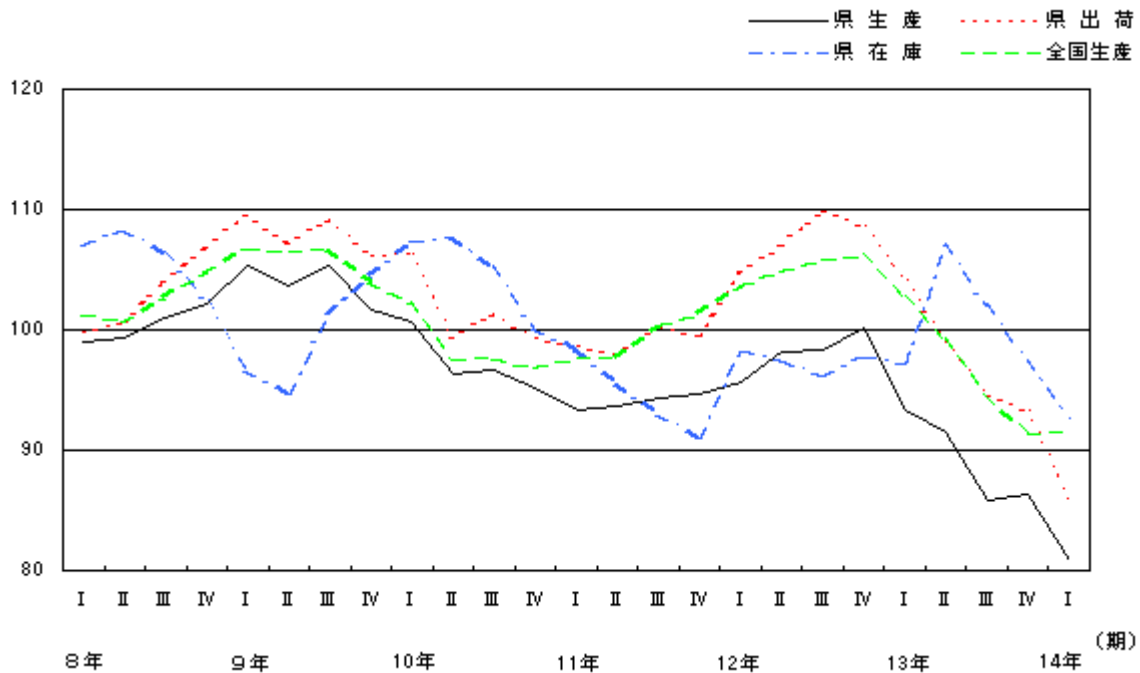
前年同期比では、生産、出荷、在庫ともに低下した。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	80.8	△6.5	△13.5	91.5	0.1	△10.8
出荷	85.6	△8.3	△17.9	94.5	0.7	△9.6
在庫	92.6	△4.9	△4.7	90.2	△4.3	△7.9
在庫率	107.1	△7.9	7.0	109.7	△4.2	5.2

前年同期比は原指数による。全国の在庫指数は期末値による。

－埼玉県鉱工業総合指数の推移－

（平成7年平均＝100 季調済）



2 業種別動向

(1) 生産

19業種中8業種が上昇し、11業種が低下した。上昇には金属製品工業、食品工業などが寄与し、低下には電気機械工業、化学工業などが寄与した。

(2) 出荷

19業種中10業種が上昇し、9業種が低下した。上昇には金属製品工業、輸送機械工業などが寄与し、低下には電気機械工業、化学工業などが寄与した。

(3) 在庫

19業種中5業種が上昇し、14業種が低下した。上昇には金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが寄与し、低下には一般機械工業、化学工業などが寄与した。

